



ゼロから創る奈良

奈良市長

2017.3.15 Vol.81

仲川げん

ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

TOPIC

奈良市の働き方改革

国を挙げての働き方改革は民間企業のみならず、これまで「強制労働省」や「ホテル大蔵」と呼ばれてきた官公庁でも避けて通ることのできない課題です。奈良市においてもこの度、改めて職員の勤務実態を調査したところ、年間1,000時間を超える時間外勤務が2名確認されました。5年前の11名からは減少しているものの、心身を壊しかねない状況を放置すれば社会問題にもなります。年間の上限規制である720時間越えは昨年度が23名と、こちらも平成24年度のピークと比べれば半減しているものの、早期にゼロを実現しなければなりません。

時間外勤務の抑制については政府に先駆け取り組んできたテーマであり、職員一人当たり平均で見ても平成23年度の年間241時間(2,182名で52万5,200時間)から28年度は150時間(1,948名で約29万時間※)まで

負担軽減を図っています。これに伴い時間外勤務手当も約13億円だったものが7億5,000万円まで低減しました。

しかし市民ニーズに対応しながら職員のワークライフバランスを確保し、さらに行革も進めるとい難題に応えるには行政の守備範囲の再定義と生産性の向上が不可欠です。窓口で定型的な受付を行う業務や、バックヤードでのデータ入力や書類のチェックなど、必ずしも正規の公務員でなくても代替可能な業務は積極的に外へ出し、限られた職員は地域の課題と向き合い新たな仕組みを検討し国県や民間とも協働しながら地域の未来像を主体的に創り上げる。より高い専門性と明確な成果目標そして何よりも地域を愛する情熱を持った人材が次々と現れる組織を実現したいと思います。

※ 予算ベース

市政報告会のご案内

2017年4月2日(日) 14時~15時30分

2017年最初の市政報告会は、3月議会の報告と滋賀県大津市長越直美氏をお迎えしてのトークセッションを開催します。皆さまのご参加お待ちしております。

特別ゲスト:越直美氏(滋賀県大津市長)

場所:奈良商工会議所 5階 大ホール (奈良市登大路町36-2)

定員:150名 参加費:無料

越直美(こし なおみ)プロフィール

2012年、最年少女性市長として大津市長に就任。2015年に大津市長としての実績が評価され、世界経済フォーラムでヤング・グローバル・リーダーに選出される。



活動報告 [17年1月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信中!

1月6日(金) 新年名刺交換会でご挨拶



経済5団体の新年名刺交換会でご挨拶。市内のホテル数・客室数がここ10年で急増している状況をお伝えし、県内全域に観光による経済効果が行き渡ることを期待します。

1月9日(月) 村田選手から新成人にエール



今年の成人式には、奈良市出身のプロボクサー村田選手に花を添えていただきました。夢と目標の違い、自分の為ではなく他者のために貢献したいと思った時に大きな力が発揮できる。熱いエールをいただきました。

1月10日(火) 経済同友会との意見交換会



同友会が昨年11月にまとめた分権社会に関する提言を元に議論。今回で3回目となりますが、何度も顔を合わせているうちに自然体で率直な意見が飛び交うように!テーマは、住民が自らの選択と責任で作り上げる地方自治。

1月13日(金) 女子ジュニアスノボ日本一・梨木選手表敬訪問



階戸市議・猪奥県議のご紹介で女子ジュニアスノーボード日本一、鼓坂北小6年の梨木心礼さんが表敬訪問。昨年は全国規模の大会で4戦4勝!北京冬季五輪が目標とのこと。応援しています!

1月26日(木) 文化財防火デーに伴う消防訓練



昭和24年、法隆寺で金堂が火災に遭った事から毎年各地で訓練が行われます。奈良市では宮田文化庁長官を迎え実施。放水が始まると見事な虹が現れ、従事された消防関係者の労をねぎらうような美しさでした。

1月28日(土) 奈良市子育て応援キャラがLINEスタンプに



奈良市の子育て応援サイト「子育て@なら」のキャラクターである「ももいろいくじーか」がLINEスタンプになりました。(40個120円)売上は、子ども達のために使わせていただきます。

市観光センター、6月にリニューアルオープン

観光センターを(株)バルニバービと共同でリニューアルします。区画の約半分が観光案内機能や協会等の事務局になり、市が外貨両替、授乳室、トイレ改修等を担います。その他をバルニ社が担当し、自己資金でカフェを展開します。佐藤社長は「地元の人が見過ごしている奈良の価値に光を当てるのが役割。カフェンシエテというコンセプトで地域と社会を繋ぎたい」と話されました。夜が早い、食の魅力が弱いという固定観念を脱する機会と捉え、奈良の常識を覆したいと思います。

ランサーズ×奈良市、女性就業支援サービス開始

クラウドソーシングを活用した事業を展開するランサーズ株式会社と奈良市は、女性の働き方を支援する事業を開始しました。「なららワーク」と名付け、市民向けの案件探しを容易にする、子育て世代の在宅ワークの拡大を目指します。奈良市は女性の就業率が低く、全国平均を下回る42.5%という現状です。一月には、クラウドソーシングを学ぶ基礎講座を開きました。2月・3月には実践講座を開き、育児や介護中でも自分らしく働く選択肢を見つける支援を行います。

仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1
FAX:0742-26-0398

ボランティア
募集中!

■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

